

第15回 花見山フォトコンテスト 応募要項

応募締切 2020年6月1日(月) 必着

応募部門・各賞・審査員		
■秋山庄太郎 生誕百年記念 花見山の四季部門… 福島市の花の名所「花見山公園」の四季折々の魅力を伝える作品。		
■福島ふるさと部門…………… 福島県の風景や行事などを撮影した作品。福島県の魅力を全国各地に発信する作品。		
賞／部門	秋山庄太郎 生誕百年記念 花見山の四季部門	福島ふるさと部門
最優秀賞	秋山庄太郎賞 1点 副賞／秋山庄太郎額装作品	ふるさと賞 1点 賞金5万円
優秀賞	2点 賞金1万円	2点 賞金1万円
レディース賞	1点 賞品	1点 賞品
企業賞選	11点 (企業賞協賛各社より各1点、他入選)	11点 (企業賞協賛各社より各1点、他入選)
審査員	秋山庄太郎写真芸術協会 秋山庄太郎写真芸術館	主催者及び主催者が委任する審査員

※花見山の四季部門：生誕百年の記念品を予定しています。

審査発表・入賞作品展示・表彰式

- 2020年6月中旬審査会を予定
- 第一印刷花見山フォトコンテストホームページにて審査結果を発表します。入賞者には、別途ご通知いたします。
- 入賞者の表彰式を開催いたします。また、入賞作品展も開催を予定しています。

応募資格・形態・注意事項等

- フコ、アマ問いません。
- 応募作品は2019年6月以降に撮影したもので、他のコンテストへの実績、応募予定のないものに限りです。(類似不可)
- 合成写真は不可
- お1人様、1部門につき3点まで応募できます。
- 作品は、四ツ切、ワイド四ツ切、A4カラープリント(銀塩・レーザープリント・インクジェットプリンター可)(パノラマサイズは不可、組写真不可)
- 撮影の際に、花見山や福島環境に悪影響を与える行為はしないでください。また、自然保護と交通渋滞対策のための交通規制に従ってください。
- 人物が被写体の場合は必ず相手方の承諾を得てください。肖像権侵害等の責任は負いかねます。
- 応募作品の著作権は、応募者に帰属します。
- 入賞作品及び応募作品の使用権は主催者に帰属し、各種印刷物、商品、プリント展示、広告媒体、インターネットなどへ使用させていただきます。
- 入賞作品の原簿(フィルムまたはデジタルデータ)は、主催者の指定する日までにご提出ください。
- 応募規定に反する場合には入賞を取り消すことがあります。
- 応募作品の取り扱いについては十分注意いたしますが、万一の事故に対する責任は負いかねますので、予めご了承ください。
- 入賞者のご氏名、居住地(市町村名まで)、作品名は、展示および入賞者発表の際に掲示いたします。
- 応募作品は、原則として返却いたしません。
(返却を希望される場合は、応募用紙の返却希望欄にチェックをし、着払伝票等に発送先をご記入のうえ作品と一緒に送ってください。)

応募先及び問い合わせ 〒960-8201 福島県福島市岡島字古屋館1-2 株式会社 第一印刷
「花見山フォトコンテスト」W係宛 TEL 024-536-3232

キリトリ

第15回 花見山フォトコンテスト応募用紙		作品の裏面左下に、テープで四隅をしっかりとめてください。(のり付不可)複数枚必要な場合はコピーしてお使いください。	
■応募部門 秋山庄太郎 生誕百年記念 花見山の四季部門 福島ふるさと部門		いずれかの部門に○をつけて下さい※必須	
■名前(ふりがな)※必須	■年齢※必須	■作品タイトル(ふりがな)※必須	
	歳		
■住所(ふりがな)※必須 〒 - 都道府県	■撮影機材・データ※必須 カメラ レンズ フィルター その他		
	■シャッタースピード	■露出	■ISO感度
	1/()秒	F/	■使用フィルム
			■三脚
			有・無
■返却希望欄 <input type="checkbox"/> 返却を希望する ※宅配便(着払)で ご返送します	■撮影意図※必須(出来るだけ詳しく。作品展などで作品とともに紹介いたします。)		■原版※必須(○をつけて下さい) フィルム ・ デジタル
■整理番号(事務局記入欄)	■電話番号※必須 ()	■職業	■撮影日※必須 令和 年 月 日
		■性別※必須 男・女	■撮影地※必須 市 町 郡 村

応募に際して、お預かりした個人情報は、入賞者への通知、作品展のネームプレート、作品展のご案内、作品返却希望者への返送、次回のフォトコンテストのご案内、HPでの紹介、企画のご案内に必要な範囲内で使用します。個人情報を厳重に管理し、漏洩、滅失及びき損等を防止し、第三者への無断開示は行いません。

第15回花見山フォトコンテスト作品募集

◆福島ふるさと部門

福島県の風景や行事などを撮影した作品。福島県の魅力を全国各地に発信する作品。



第14回 ふるさと賞「まつりの日記」門林 泰志郎



優秀賞「薄磯海岸の日の出」大谷 佐平



優秀賞「お帰りふるさとへ」田中 穂積

第15回花見山フォトコンテスト

◆花見山の四季部門

福島市の花の名所「花見山公園」の四季折々の魅力を伝える作品。



第14回 秋山庄太郎賞「花の競艶と眺望吾妻連峰」阿蘇 周重

桃源郷の名付け親
秋山庄太郎「生誕百年」記念
素敵な作品大募集!

花見山を写真で届けよう。

あなただけの花見山を紹介してください。



優秀賞「初めての花見山」鈴木 達也



優秀賞「早春の輝き」古関 喜典

写真を通じて、福島の魅力伝える。

美しい福島を広く皆様に知っていただくために開催してきた「花見山フォトコンテスト」は、今年で15回目を迎えます。写真家・故秋山庄太郎氏は、花見山公園を大変に愛され、数多くの作品を遺しました。第5回から秋山庄太郎写真芸術館のご協力で「花見山の四季部門」に秋山庄太郎賞を新設、第14回からは部門名に「秋山庄太郎記念」を掲げています。

「花見山フォトコンテスト」は、福島復興と地域おこしの活動の一環として、写真家の秋山氏が“福島に桃源郷あり”と賞賛したことで、全国に知られるようになった花見山をはじめとする、ふるさと福島の美しさを、写真を通してより多くの人々に知らせることを目的に開催しています。

また花見山フォトコンテストの作品展は、福島県芸術祭参加行事にもなっており、福島県の芸術・文化の振興に寄与しています。

「見せてくらんしょ」
「ほんじゃ、見らんしょ」で50余年

花見山の中心である花見山公園は、現在の園主・阿部一夫さんの祖父伊勢次郎さんが、生け花などに出荷する花卉を生産するために自宅前の山を開拓してできた花畑。それを一夫さんの父である一郎さんが受け継ぎ、雑木林だった山を切り開き、自ら苗を植えていくことで、花卉が咲き誇る美しい山になりました。

昭和30年頃から「花を見せたい」と訪れる人が増え、一般の方にも



二代目園主
故 阿部一郎氏

畑を開放するようになりました。皆さんが「見せてくらんしょ（見せてください）」と言うので、一郎さんは「ほんじゃ見らんしょ（それじゃ見てください）」と…。その思いを今、阿部一夫さんが受け継ぎ、花見山を守っています。

花見山フォトコンテストの開催趣旨

- ◎ふくしまの「美しさ」を伝える
- ◎花見山の「こころ」を伝える
- ◎写真の素晴らしさを伝える

“May we have a look around?” “Why not! Please come and enjoy” — Some 50 years of warm hospitality

The Hanamiyama Park in the center of Hanamiyama (Blossom-Viewing Hill) was, in the beginning, a field of blossoming plants originated by Mr. Isejiro Abe, grandfather of the current owner Mr. Kazuo Abe. It is situated on a hillside in front of his family home, where he grew blossoming plants used in Japanese floral art and flower arranging.

Mr. Ichiro Abe, Kazuo's father, then inherited Hanamiyama. He cleared the bush-shrouded hill, planted saplings by himself and turned the hill into an enchanting world of fragrant blossoms as we see today.

From around the mid-1960s, an increasing number of flower lovers heard about Hanamiyama and its reputation and asked the Abe family for permission, by saying “May we have a look around?” This led the Abe family to open what is now a beautiful flower park to the public.

To flower lovers asking, “May we have a look?,” Ichiro willingly responded “Why not! Please come and enjoy”... This warm hospitality remains unchanged and has continued for over a half century since then.

あきやましようたろう 秋山庄太郎 (1920～2003)

東京・神田生まれ。原節子をはじめ女優のポートレートを数多く手がけ、第一線に立つ写真家としての地位を不動のものとする。さまざまな写真関連団体の重職を務め、写真文化の発展に尽力した。1965年頃から花の撮影に本格的に取り組み、以後ライフワークと定め、全国各地を「花行脚」する。1980年代半ばには、当時「知る人ぞ知る」地だった花見山公園を訪れて「福島に桃源郷あり」と表現し、その名を全国に広めた。1986年、紫綬褒章受章。1993年、旭日小綬章受章。2001年、福島市ふるさと栄誉賞受賞。2020年に生誕100年を迎え、展覧会をはじめとする記念事業などが予定されている。

写真提供：秋山庄太郎写真芸術館(東京・南青山)



- 【主催】 株式会社第一印刷
- 【特別協力】 秋山庄太郎写真芸術協会、秋山庄太郎写真芸術館、株式会社秋山写真工房、株式会社福島銀行、株式会社松屋
- 【後援】 福島県写真連盟、福島民報社、福島民友新聞社、一般社団法人福島市観光コンベンション協会、福島商工会議所
- 【協賛】 カメラのキタムラ、東日本旅客鉄道株式会社 福島駅、株式会社現代書林、福島リビング新聞社、富士ゼロックス福島株式会社、富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社、株式会社半澤紙店、常盤洋紙株式会社、株式会社光文堂東北支店、東洋インキ東北株式会社、誠伸商事株式会社、株式会社ヤマト商会(予定)

◆秋山庄太郎記念 花見山の四季部門 歴代主要作品

「花見山公園」の四季折々の魅力を伝える作品



第1回グランプリ 古関喜典



第2回グランプリ 鈴木彦三



第3回グランプリ 鈴木彦三



第4回グランプリ 斎藤俊典



第5回秋山庄太郎賞 斎藤俊典



第6回秋山庄太郎賞
藤田健三



第7回秋山庄太郎賞 渡邊恒良



第8回秋山庄太郎賞 須田哲充



第9回秋山庄太郎賞 中村 繁



第10回秋山庄太郎賞 幕田芳典



第11回秋山庄太郎賞 渡邊恒良



第12回秋山庄太郎賞 笠原壽一



第13回秋山庄太郎賞 釜谷 茂

Instagram 花見山フォトコンテストinstagram

花見山フォトコンテストでは花見山や福島で撮影された素敵な写真をピックアップし、紹介させていただきます。ぜひあなたの自慢の写真に #hanamiyamaphoto をつけて投稿してください。

◆福島ふるさと部門 歴代主要作品

福島県の風景や行事など、福島県の魅力を全国各地に発信する作品。



第4回準グランプリ 鈴木彦三



第5回ふるさと賞
小林敏行



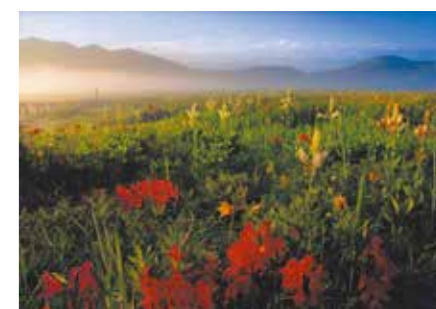
第6回ふるさと賞
渡邊源一



第7回ふるさと賞 古関喜典



第8回ふるさと賞 西間木繁雄



第9回ふるさと賞 笠原壽一



第10回ふるさと賞 藤田健三



第11回ふるさと賞 古関喜典



第12回ふるさと賞 栗原陽子

表彰式・懇親会



表彰式では入賞者の皆様に賞状・副賞を授与し、審査員から作品の講評が披露されます。



式後の懇親会は、和やかな雰囲気の中、情報交換や歓談を行い親交を深めます。

作品の活用



秋山庄太郎写真芸術館
(東京南青山)



JR 福島駅新幹線コンコース内



福島銀行本店

今までの入賞作品は、多くの企業や公共機関等に貸出し、展示などに活用されています。ロビーやミーティングスペースなどに展示され、お客様の目を楽しませてくれると貸出先の皆様からも大変好評です。